

伝統芸能

200年以上の歴史を誇る。

文化財

全国的にも知られていない檜枝岐歌舞伎は、寛政、文化の頃伝わったと言われています。

全国各地で古い歌舞伎が次々に姿を消して行く中で、古典そのままに親から子へ、子から孫へと伝えられてきた貴重な農民芸能です。また歌舞伎が上演される舞台は「檜枝岐の舞台」として国の重要有形民俗文化財として指定されています。

檜枝岐村の特産品の木工芸品には、良質の檜材を使った曲物、桁の大木を手掘りで作るハンゾウなどがあります。

「裁ちそば」は、つなぎを一切使わない伝統技術で、その風味は素晴らしく、郷土料理である「山人料理（やもどりょうり）」の中核として受け継がれています。

檜枝岐村は地形、風土において特殊な条件にあり、先祖の歩んできた道も厳しいものがありました。路傍にたたずむ稚児地蔵が悲しい歴史を物語り、今でも香や花が絶えないなど、昔からの風習を残している村です。

檜枝岐の地形や風土から生まれ、受け継がれてきた。

